

地域医療連携室だより

ゆーあーい

2021

発行責任者
地域医療センター長
副院長 中島 隆之

地域医療センター長
挨拶



センター長兼副院長
中島 隆之

地域医療連携室だより「ゆうあーい」は盛岡友愛病院の地域医療に対する取り組みだけでなく、当院のスタッフを広く地域の医療関係者の皆様に知っていただくために創刊しました。今回は私の自己紹介をいたします。

私は岩手医科大学を昭和61年に卒業し、新津教授主宰の第3外科に入局しました。ここでは心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科を学びました。その後、心臓血管外科に進み、川副教授、岡林教授と3代の教授のもとで研鑽し多くの手術を経験することが出来ました。

当院には平成21年10月に赴任しました。専門としましては血管外科領域を担当し、後輩の佐藤央先生と共に下肢閉塞性動脈硬化症に対するバイパス手術や血管内血管形成術（カテーテル治療）、下肢静脈瘤手術などを施行しています。

静脈瘤手術は年180〜200例前後おこなっています。また、回復期治療にも興味を持ち、心臓リハビリ指導士の資格を取りリハビリ治療にも携わっています。今後も急性期医療と回復期医療をミックスした形で地域医療に従事してまいりますのでよろしくお願います。



富士山

阿弥陀岳山頂
(2805m)



岩手山八合目 臨時診療所にて
令和2年8月10日(山の日)

私の趣味は主に登山です。学生時代には山岳部に属し、医師になってからは趣味が高じて日本登山医学会認定の国際山岳医課程を修了しました。また、岩手県山岳スポーツクライミング協会理事をしている関係で岩手山8合目避難小屋で臨時診療所を開設しました。山開き、山の日、9月連休の年3回のタイミングで友愛病院のスタッフや山岳協会有志と共に傷病者の応急処置をしています。写真のような格好で働いていますので岩手山に登った際に見かけたら声を掛けてください。

リハビリテーション技術部の紹介

リハビリテーション技術部の方針は、“リハビリテーションを治療として認識し、医学的根拠を持って診療すること”としております。平成25年から、療法士を本格的に増員し、現在は院内に93名の療法士が在籍しております。回復期リハビリテーションの診療を中心に、4つの専門チームを編成しております。

当部署の業務は、とても忙しいです。年間600名以上の患者が急性期病院から転院してきますし、当院の一般病棟からも急性期の患者が処方されますので、毎日が新患ラッシュです。それでも、スタッフの志しは高く、みんなで協力しながら診療にあたり、診療成果もどんどん高まってきております。

次年度も10名以上の新入職員が入る予定です。より高い診療成果を目指して努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



施設基準 脳血管・運動器・心大血管・呼吸器・がん患者の各リハビリテーション料（I）算定

各疾患チームの紹介

Team 1 内部障害

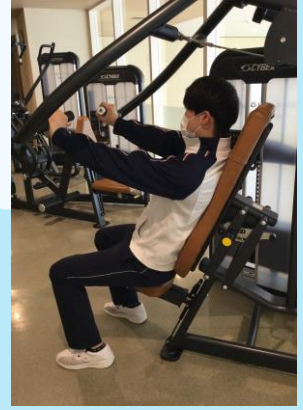
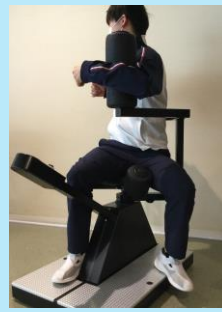
内部障害チームでは主に①肺炎や慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患②心筋梗塞、心不全、腹部大動脈瘤、下肢閉塞性動脈硬化症などの循環器疾患③骨転移がん、脳転移がん、緩和ケアなどの悪性腫瘍④外科術後廃用症候群、肺炎後廃用症候群などの廃用症候群⑤糖尿病や下肢閉塞性動脈硬化症などによる下肢切断者に対する義足訓練⑥慢性腎不全などの腎疾患の方を対象としてリハビリを提供しております。

内部障害チームの対象者の方には高齢であったり、複数の基礎疾患を持っていたり、術後の安静による著明な廃用状態で車椅子に移る動作も2人介助を要すといった方もおります。また緩和ケアの様に限られた時間の中で本人や家族が望む事に繋がられるようリハビリをしております。

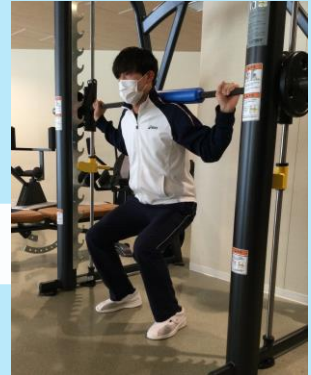
その様な患者さんに対してチーム内で情報を共有し、早期に離床し、早期に運動を行う事で病態の改善や再発の予防、生命予後の改善を目指して日々、リハビリ治療を行っています。最後に内部障害チーム内には、心臓リハビリテーション指導士や呼吸療法認定士などの内部障害系の専門資格を有する療法士が在籍しており、専門的なリハビリテーションを実施しております。



Team 2 整形外科



当院では主に、骨折の手術後の患者さんや変形性関節症に対する人工関節の手術後の患者さん、脊髄疾患と呼ばれる背骨の手術後の患者さんのリハビリテーション治療を、整形外科チームのスタッフが専門的に行っています。整形外科チームでは、怪我や手術により一時的に低下してしまう体の機能を取り戻すことは 勿論のこと、怪我や手術をする前の状態よりも一回り全身を強くした状態で退院して頂くことを目標としています。このため、身体を鍛えるための、専門的なトレーニング機器を用いながら、より効果的なリハビリテーションを提供できよう日々の診療に取り組んでおります。患者さん一人一人の今後の人生を自分らしく送って頂けるための身体づくりを、スタッフ一同全力でサポートさせていただきます！



Team 3 脳卒中

当院の脳卒中チームは、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、パーキンソン病など疾患を対象に積極的な運動療法を行っています。リハビリテーション治療内容は、運動療法の他に、装具療法、電気刺激療法、ボトックスを併用し最速、最短での機能回復、日常生活復帰を図っています。リハビリテーション治療は1日最大3時間、装具療法での歩行は1回1時間の治療の中で1km以上歩くこともあります。

脳卒中の多彩な症状にはオーダーメイドの治療が必要となります。運動療法の軸は最大筋力と最大酸素摂取量の向上、関節可動域の拡大となります。脳卒中では脳血管内の血流分布の狭小化や血流量の低下がみられます。積極的な運動療法は脳血管内の血流を促通し、各脳組織の働きを改善する効果が期待できます。これらを応用し、高次脳機能障害のある患者に対しては運動療法と並行して認知課題をおこない、注意能力などの改善を図ります。

当院では復職支援、運転再開も積極的に行っています。農業や事務作業などの労働内容に応じ、身体機能、認知面を考慮できるよう各評価を用いています。復職、運転再開が安心・安全にできるよう、常日頃から多職種で情報共有を行っています。

わたしたち脳卒中チームは、培われた知識や技術で患者様の機能回復を最大限援助し、可能な限り質の高い生活を目指します。



Team4 言語療法



言語聴覚療法では、言葉によるコミュニケーションや飲み込み（摂食・嚥下）、また高次脳機能（注意や記憶など）の能力の回復を専門的に支援しています。言語の障害や摂食・嚥下障害は、脳血管疾患以外にも呼吸器疾患や循環器疾患、廃用症候群などでも引き起こされるため、対応している疾患は多岐に渡っています。

当院では、言語評価に加え、嚥下造影検査（VF）等の嚥下機能評価を行い、患者様の症状に応じた訓練指導・助言を行っています。また、ご家族、他職種スタッフへ、コミュニケーションや飲み込みの状況を伝え、適切な介入方法について提案・指導を行っています。



ベーカリーゆうあい



営業時間 10:00～15:30（土日祝日は、定休日）
 ご好評いただいております当院のパン屋さん
 焼きたてのパンをぜひお召し上がりください



レストランゆうあい



営業時間 10:30～15:30（土日祝日は、定休日）
 定番メニューから550円の日替わりメニューまで
 シェフの一品をぜひお召し上がりください



編集後記

設備紹介

医療法人友愛会

盛岡友愛病院

〒020-0834
 岩手県盛岡市永井12-10
 TEL 019-638-2222 FAX 019-637-3790
 診察日時/診療科ごとに曜日・時間が異なります
 ので、お電話・病院ホームページ等
 でご確認ください。

休診日/日曜日、祝日、年末年始
 創立記念日（5月23日午後）
 土曜日午後（第2・第4終日）
 URL <http://www.yu-ai.net/>

交通のご案内

- バス 岩手県交通 南インター経由川久保線
 「盛岡友愛病院」下車
- 電車 東北本線 岩手飯岡駅より徒歩20分
- 車 盛岡南インターより2分
 盛岡駅より15分
- 駐車場 700台収容（無料）